

令和6年度 北海道大谷室蘭高等学校関係者評価報告書

【評価方法】

文部科学省の定める「学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者による自己評価の検証をおこなうべく本学園のPTA役員並びに評議員で構成された7名を評価委員として北海道大谷室蘭高等学校関係者評価を行った。

【北海道大谷室蘭高等学校関係者評価委員】

七 崎 伸 哲（北海道大谷室蘭高等学校PTA会長）
小 島 清 隆（北海道大谷室蘭高等学校PTA副会長）
大 家 利 基（北海道大谷室蘭高等学校PTA副会長）
高 橋 忠 幸（学校法人望洋大谷学園評議員）
新 岡 尚（学校法人望洋大谷学園評議員）
善 方 敏（学校法人望洋大谷学園評議員）
山 本 亜 紀（学校法人望洋大谷学園評議員）

【評価資料】

評価に際して、教職員による令和6年度自己点検評価報告書並びに令和6年度在学生保護者を対象にした保護者アンケートを実施し、回答書を資料とした。尚、保護者アンケートは令和7年1月27日から令和7年2月2日にオンラインフォームにて実施し、送信数376名に対して172名の回答を得たものである。（有効回答率45.7%）

1. 建学の精神、教育理念、教育目標・学校目標

親鸞聖人の教えを教育目標にしている北海道大谷室蘭高等学校は、若い世代にとって人間形成に重要な要素を学ぶことができると感じる。また教育スローガン「きょうも会えたね あしたも楽しみ」と、一年間のテーマとして毎年異なる「法語」を掲げ取り組む姿勢は特筆すべき活動であると感じる。反面、具体的な取り組みについてはまだ不十分な部分があると感じる。生徒たちがどの程度理解しているかの検証等が必要に感じる。

2. 分掌

【教育課程・学習指導】

大変充実した教育課程であると感じた。学習指導についても熱心に取り組んでいると感じる。今後は生徒が自主的に取り組める教育課程や生徒相互で問題提起する等の時間を充実し、総合的な学習の形態を更に発展していくことを期待する。

【生徒指導・部活動】

生徒指導に関しては全生徒がしっかり挨拶ができており、きめ細かい指導がされていると感じる。SNS等におけるトラブルは、学校での指導には限界があり、各家庭でも指導することが重要である。今後は学校と家庭の連携をより一層しっかりと取り組んでいく必要があると感じる。

部活動については、担当する教職員は国の働き方改革のガイドライン等における負担軽減の課題がある中、生徒のモチベーションを上げる指導で、結果に結び付けて欲しい。また、部活動の施設拡充を望みたい。

【進路指導】

多種多様な進路先がある中、一人ひとりに寄り添った進路指導がなされている。例年、100%に近い形で進学・就職が決定している点は、地元企業からも信用のある学校として認識されている。今後は卒業生の退学率、離職率等の追跡調査を行うことで、更に充実した進路指導が行えるのではないかと感じる。

【保健管理・安全管理・個人情報管理・危機管理】

全般にしっかり取り組んでおり良い体制ができていると感じる。特に、生徒個々人も体調管理に留意している点は今後も継続してほしい。

部活動生徒については故障が多く感じる。故障した生徒を客観的に評価することが必要であるとする。

【入試・生徒募集】

地域人口減少の中、生徒募集について大胆な発想で生徒募集を行っていただきたい。その中で、通信制課程設置は大変良い取り組みとして評価できる。今後は海外からの留学生の受入等も検討し、幅広い生徒確保を目指してもらいたい。また、部活動を目標に入学する生徒に対しては、施設設備の拡充を望む。

【特別支援教育・地域活動・図書館等】

特別支援教育を必要とする生徒の数は障害の多様化により増えており、受け皿となる教育機関も必要とされる。多様化されるニーズに対し、幅広く対応可能な教育機関を目指すのは必然と感じる。

地域活動は他校にない素晴らしい活動をされている。特にインターアクト部の活動は、特筆すべきところである。今後はPTA活動と連携することにより、更に多様な取り組みができると感じる。

図書館については情報端末（スマホ、タブレット、パソコン）の発展により、従来の取り組みが難しいところであるとする。

3. 管理運営・財務・改革・改善

理事会、評議員会を定期的に開催し理事、評議員とも情報共有がしっかりできていると思われる。財務については国の補助金や就学支援金制度の更なる拡充を期待するところであるが、学校としてもしっかり努力され健全に経営されていると判断する。

改革・改善については施設整備の拡充を望む。

4. その他

室蘭大谷高等学校、登別大谷高等学校が統合され、10年以上の月日が経ち、西胆振地区の教育を担う私学として前向きに取り組んでいる。生徒指導並びに進路指導に於いては、地域の評価も高く今後も期待される場所である。

様々な意見を述べたが個人的には本学校に対し感謝している。子供を進学させた保護者として不満が無かったわけではないが、親身に指導・教育していただいた指導者や教員に対し非常に満足している。本学校は部活動を通して西胆振の活力になってもらいたいと地域から多くの期待をされている。今後も地域からの期待と誇りを自信に変え、邁進していただきたい。